



暗い時間帯、活用上手で交通事故防止！

ドライバーの皆さん

ハイビームを上手に活用しましょう

ハイビームを活用することで、歩行者等の早期発見が可能になります。ただし、ハイビームは他の車両等を眩惑させるおそれがあるため、**上手な切替え**が必要となります！

【ハイビームの活用のコツ】

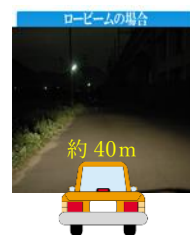
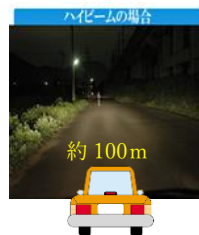
- ・ 暗い道で対向車や先行車がない場合は、ハイビームを活用しましょう。
- ・ 交通量の多い市街地や、対向車、先行車がいる場合はロービームで走行しましょう。

※自転車や歩行者の場合でもロービームに切り替えましょう



ハイビームの状態を続けて、対向車や先行車の運転に支障をきたすおそれのある行為は、道路交通法違反に当たります。こまめな切替えを実践しましょう！

照射距離の違い



歩行者や自転車の皆さん

反射材用品等を上手に活用しましょう

本年2月中に道路横断中の歩行者と車の**死亡事故が2件発生**しています。

反射材用品等の活用や明るい色の服装を心掛けて、自分の存在をドライバーにアピールしましょう！

車から歩行者が見える距離
(夜間・ライト下向きの場合)



【反射材用品の活用のコツ】

- ・ 反射材は色々な種類があるため、老若男女問わず、自身の生活の中で使用しやすいものを選びましょう。
- ・ 「暗くなってから反射材を身につける」では忘れてしまうこともあるので、「暗くなったときに役立つ！」ように普段から持ち歩くものに反射材を取り付けておきましょう。

ツイッターを運用しています。フォローお願いします！【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】



◇ 毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に新情報を配信します。

◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。(アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/)

〔 交通法令・制度等についてはこちら

アドレス www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/trafficsafety/trafficsafety05/ 〕

